

北九州焼うどんラウンド



九州体育・保健体育ネットワーク研究会
H30.12.22(土)
於) 福岡教育大学附属小倉中学校

北九州ミニ焼うどんラウンドが開催されました。参加者は、小学校教職員10名、中学校教職員7名、高等学校教職員2名、教育員会4名、大学教員2名、大学生(院生)3名、合計28名となり、その中で、高等学校や広島や大分といった県外からの先生方の参加をいただきました。ありがとうございました。

1 ご多忙の中での参加、感謝申し上げます。

当日は、各学校終業式終了後の翌日という、お忙しい中お集まりいただきましたこと感謝申し上げます。会場を福岡教育大学附属小倉中学校にて、ICTの有効活用についての講話・報告・演習を行いました。じっくりと話したい人、ICTについて議論を深めたい人、ついではおはぎを食べたいと思っている人等、様々な目的をもった方が集まりました。超多忙な佐藤先生には無理を言って前日から北九州市に立ち寄っていただきました。残念ながら当日の情報交換会にはご都合が合わず出席していただくことができませんでした。次年度は是非、深い学びが体験できる情報交換会にもご参加していただけるよう、日程調整等して参ります。

2 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 スポーツ教育学科 教授 佐藤 豊 先生による講話

講話の柱としては、新学習指導要領の動向と体育科・保健体育科のICTの活用についてでした。特に今回はICTの活用ということでしたので、タブレットを活用して体づくりアプリを実際に参加者で操作をしました。講話の中でもありましたが、ICTを活用することが目的になることで、学びが生まれなくなることが考えられます。タブレット等を活用して、話し合う活動を行う際も、活動時間が少なくならないよう、活動中は端的に、振り返りをじっくりさせることで効果的に学習を進めることができることを学びました。子どもに資質・能力を身に付けさせるための手段であることを、教師は認識しておく必要があることを再確認しました。



3 北九州市におけるICT活用の実践報告と活用例の作成(北九州市教育委員会)

初めに、北九州市におけるICTの活用の指定を受けている小・中学校2校の実践報告を行いました。紹介した映像でもわかるように、タブレットを導入して2か月の状況でも、子どもたちはタブレットを自由に操作をすることができていました。おそらく、普段の生活においても同様の活用をしているのではないかと推測することができます。あとは、そのタブレットを、学習活動の中のどのような場面で、どのような活用をするのかという教師側の設定が重要です。

続いて、おそらくラウンド初となる、保健体育科以外の先生(北九州市教育委員会指導主事【技術・家庭科】)による、体育授業におけるタブレットを活用した活用例の作成を行いました。タブレットの機能の説明の後、「投動作の動きの違い」や「剣道の踏み込む足の動きの違い」などを、実際にタブレットにある動画比較の機能を活用して行いました。タブレットの動画比較を活用することで、言葉だけではなく実際の様子を自分でメタ認知することができました。



4 情報交換会

昼間は、講話と実技ということで主体的・対話的に参加者が学びを進めてきました。そして、夜の情報交換会において、その学びを「深い学び」にすることができました。参加した方の立場は、現場の先生や校長先生、指導主事、学生など様々でしたが、各々の立場から、体育授業や体育に対する熱い思いや疑問等、とても有意義な議論が繰り広げられました。今回の参加だけでなく、他の都道府県のラウンドに参加をしたり、知り合った先生と情報を共有したりするなど、このラウンドが次につながる会になっていただければ幸いです。(報告:北九州市教育委員会指導主事【木村】)